

**リコーグループの
青少年育成に関する
社会貢献プログラム
のご紹介**

**子供の体験活動推進に関する実務者会議
(リアル体験推進チーム第2回)**

2022年10月6日

株式会社リコー

プロフェッショナルサービス部

ESGセンター 事業推進室 CSVグループ

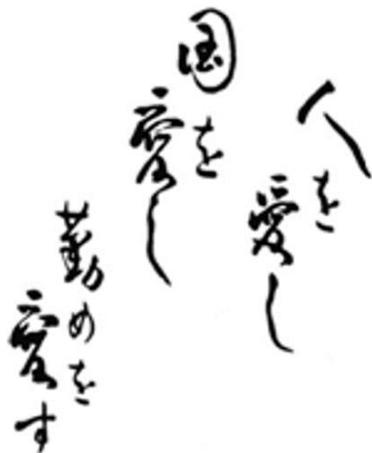
阿部裕行

創業の精神

創業者
市村 清



三愛精神



会社概要



設立 1936年2月6日

代表取締役社長執行役員 山下 良則

2036年ビジョン

“はたらく”に喜びを

私たちの使命

世の中の役に立つ新しい価値を生み出し、
生活の質の向上と持続可能な社会づくりに責任を果たす

私たちの目指す姿

信頼と魅力のグローバルカンパニー

私たちの価値観

CUSTOMER-CENTRIC

お客様の立場で考え、行動する

PASSION

何事も前向きに、情熱を持って取り組む

GEMBA

現場・現物・現実から学び改善する

INNOVATION

制約を設けず、柔軟に発想し、価値を生み出す

TEAMWORK

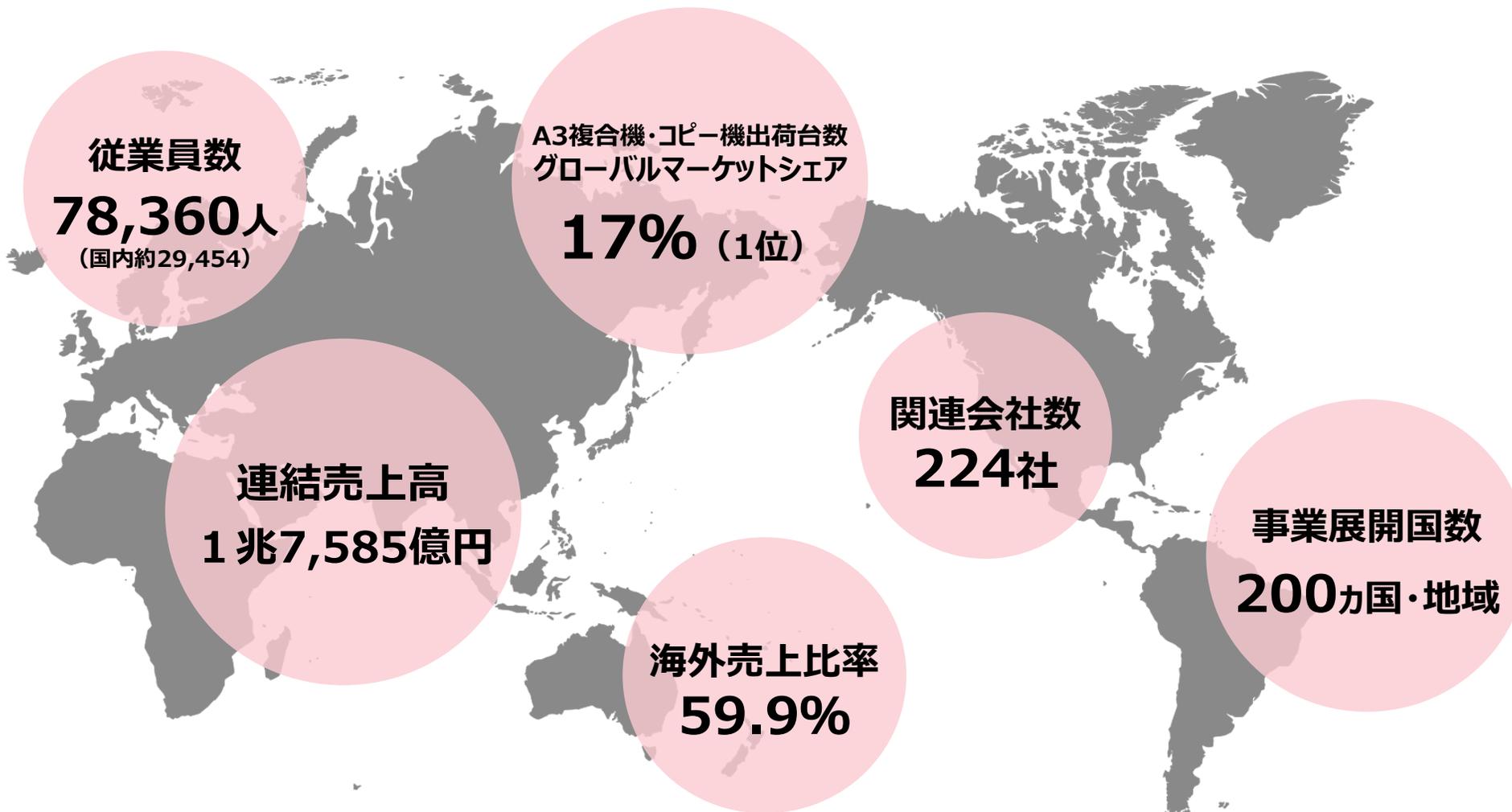
お互いを認め合い、すべての人と共創する

WINNING SPIRIT

失敗をおそれず、まずチャレンジし、成功を勝ち取る

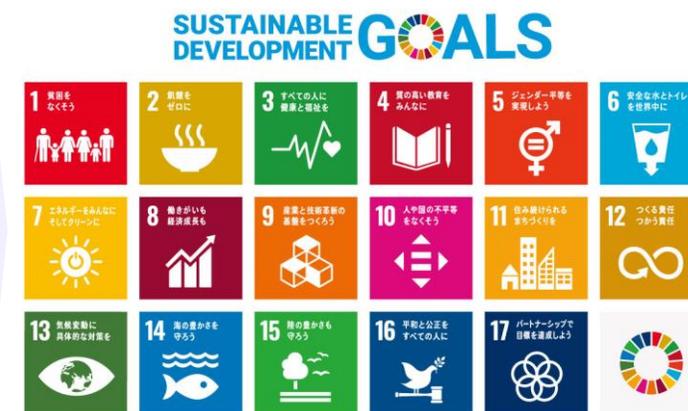
ETHICS AND INTEGRITY

誠実に、正直に、責任を持って行動する



業績は22年3月期
マーケットシェアは2020年実績
従業員・会社数は22年3月末時点

SDGsと7つのマテリアリティ



三愛精神

創業の精神

リコーグループの社会貢献活動の全体像

リコーグループは、「良き企業市民」として、国・地域の文化や習慣を尊重し、志を同じくする人々とのパートナーシップのもと、地球・社会の持続的発展に貢献。**3つの重点分野**で**5つのプログラム**を展開、**継続的な活動が特徴**。

3つの重点分野

1 はたらく人のインクルージョン



2 生活の質の向上
(教育、ヘルスケア、まちづくり)



3 気候危機への対応と生物多様性保全



5つのプログラム

体験型

デジタル技術による 若者支援プログラム

急速なデジタル化に対応できず
就労に困難を抱える若者を対象に
NPOと協働でリコーの社員・技術
により就労を支援。**2021年開始**。



体験型

リコー・ サイエンス キャラバン

リコーグループの社員、技術を活用
した科学実験プログラムを授業や
科学館イベントを通じ子ども達に提
供。**2007年開始**。



体験型

市村自然塾・関東

1年を通じて農業体験、共同生活
プログラムを提供、子ども達の成長
を支援。**2001年開始**。



リコー社会貢献クラブ FreeWill

社員有志の給与や賞与の端数積
立金と会社からのマッチングギフト
を原資にNPO団体等への寄付を
実施。**1999年開始**。



一部
体験型

100万本未来の 森プロジェクト

生物多様性保全・地球温暖化防止、コ
ミュニティ発展の観点から「守る」「増やす」
の両面で森づくりを推進。**1999年開始**。



各プログラムの対象年齢/カバー範囲



“青少年の理科離れ”の解消に向け、リコーグループの人材・製品・技術を活用した科学実験プログラムを全国展開。科学の面白さを体験、関心を高めてもらう機会を提供

● プログラムの概要

- ・カメラや印刷の仕組みを社員の解説と様々な実験を通して学習
- ・全国の**科学館等のイベントへ出展、学校の探究授業への協力**
- ・2007年開始、20年度から**探究型授業への協力開始**

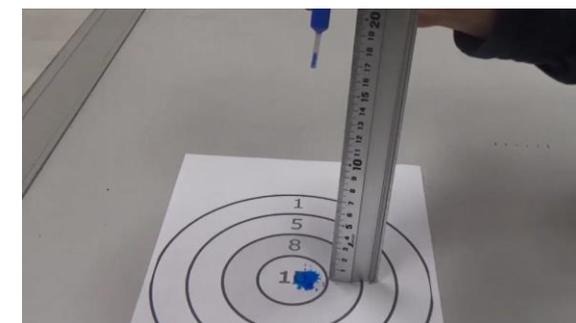
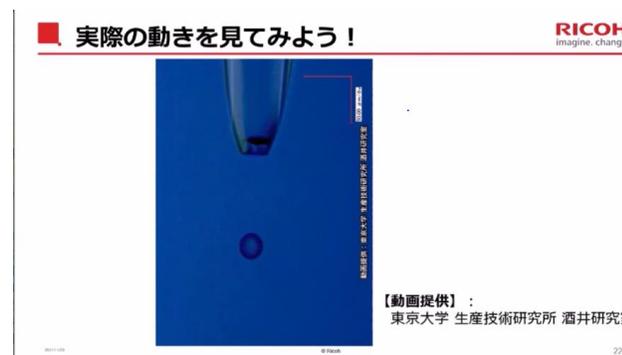
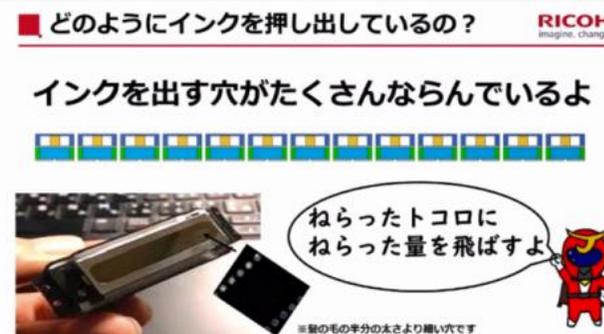
● 実験プログラム

- ・360度カメラとあそぼう
- ・インクジェットプリンタとあそぼう
- ・コピー機のひみつをさぐれ！ ～光と色の3原色～

● 【成果・参加者の声】

- ・**累計開催回数 404回 体験者 173,829人**（2022年4月現在）
- ・学校ではこのような実験は経験がない。楽しかった。
- ・もっと多くの実験、体験をしてみたい気持ちになった。

■ 実験プログラムのコンテンツ例



● 公立中学校様（神奈川県海老名市）



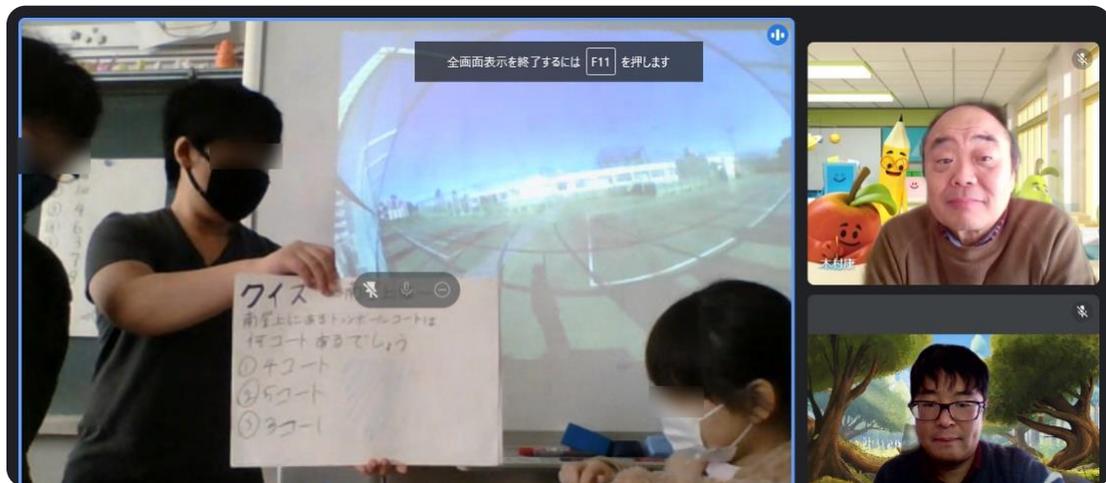
【探究テーマ】 中2 「ウイルスさんとどんなふう生きていきたいですか？」

【実施プログラム】 インクジェットってなあに？

【授業の内容】

- ・2020年12月 リコー技術者による授業（オンライン）
ウイルスやPCR検査の内容、検査精度を上げるインクジェット技術の紹介
- ・2021年2月生徒たちからの発表会（オンライン）
発表に対し、他校の先生や他企業と一緒に講評・質疑応答
- ・ご担当の先生の感想
社会人のみなさんとのコミュニケーションを経験した生徒たちは、生きていく上での刺激や気づきを手にかけていると感じ、大変嬉しかった。

● 馬込第三小学校様(東京都大田区立)



【探究テーマ】 小6 「馬三の思い出を残そう！」

【実施プログラム】 360度カメラとあそぼう（基本編）

【授業の内容】

- ・1/14 360度カメラの勉強(対面)
360度カメラ「RICOH THETA」の簡単な仕組みと凸レンズを使ったカメラ・オブスキュラ体験、THETAを使った撮影体験
- ・1/27 児童たちによる撮影した写真・動画での発表会(オンライン)
児童たちの発表に対し、リコー社員から講評・コメント
- ・ご担当の先生の感想
現役社会人とのコミュニケーション・質疑応答が出来、児童たちへの良い刺激となりました。キャリア教育の側面でもとても有意義だと感じます。

- ① **リコー・サイエンスキャラバンでの知見、リコーの持つ技術力が生徒たちの発想を広げること**に寄与できると感じた
- ② 生徒たちが刺激を受け、気づきを得ているとの先生からの感想をいただき、**教育現場にお役立ち**できると感じた
- ③ **リコー技術者と生徒たちの交流を通じ、キャリア教育**への寄与もできると感じた

デジタル化、バーチャルリアリティの負の影響を踏まえ 子どもたちに『農作業』と『共同生活』が体験できる年間プログラムを提供

● プログラムの概要

- ・2001年、創業者市村清の生誕100周年を記念し
リコーが設立したNPO法人 **昨年設立20周年**
- ・**小4～中2の子供たちが毎年56名入塾**
週末に農作業と共同生活を体験（隔週2泊3日*年18回）
- ・「**生きる力を大地から学ぶ**」をコンセプトに活動
コロナ禍で20～22年は特別プログラムで実施

● 活動内容

- ・農作物の栽培（栽培する野菜は季節ごとに子供たちが決定）
- ・共同生活を通じた基礎的な生活力の習得
（掃除、食事の準備、寝具の上げ下げなど）
- ・危険予知訓練/避難消火訓練など

● 【成果・参加者の声】

- ・ **20年で約1,000名の子供たちが卒塾**/OB・OG会も活動
- ・ 農作業体験と仲間との交流で人を敬う心、自主性が身についた（保護者）
- ・ 物が届くまでの手間がわかった。物を大切に扱い感謝したい（卒塾生）

■ 神奈川県足柄上郡松田町にある塾舎/子供たちの農作業の様子



【日本の子供たちを取り巻く状況】

1990年代後半～

心の問題が表面化

- ・バーチャルリアリティの急速な進展
- ・青少年による残忍な事件の増加
- ・「ひきこもり」「いじめ」等の問題が表面化

2000年代～

社会で生きる力の低下

- ・ますます進む少子高齢化
- ・仲間と直接触れ合う交流体験の減少
- ・不便さ、失敗から学ぶ機会の減少

当時の会長浜田 広は、幼少期の体験をもとに、「自然に接する場」、「直接、命と触れ合う機会」の重要性を提唱
子どもの健全な育成の一助として、『**農作業**』と『**共同生活**』を体験できる場の提供を、リコーの社会貢献事業として
実施することを決断。

**リコーグループの創業者市村清の生誕100周年を記念し、
その偉業を称えるに相応しい新たな事業として、上記を具現化する「市村自然塾」を設立した。**

生物多様性保全、地球温暖化防止に貢献すべく、 学校や自治体、お客様と協働し、様々な森林保全プロジェクトを展開

● プログラムの概要

- ・生物多様性保全、地球温暖化防止、持続可能なコミュニティ発展の観点で、**ステークホルダーと共に活動を展開**
- ・「守る」「増やす」の両面で活動全体として100万本の森づくりを目指す
- ・グループの森である**「えなの森」**は**子供たちの学習の場として活用**

● 展開中の森林保全プロジェクト

- ・**リコーグループの森「えなの森」の保全活動**
- ・複合機の販売台数に応じたマングローブ植林活動
- ・日本の各地域で進めるステークホルダー協働の森プロジェクト
- ・世界の国・地域でのグループ会社による森林保全活動

● 【成果・参加者の声】

- ・これまで**世界で24.1万本を植林（2020年～累計）**
- ・えなの森は**学校関係者を中心に約900名参加（直近2年の実績）**

■ リコーグループ「えなの森」を活用した体験学習の様子（岐阜県恵那市）



名古屋商科大学大学院 SDGsプロジェクト



恵那農業高校環境科学科 フィールドワークでの活用



恵那北中学校 森林保全の体験とSDGs教育



地元小学校 課外授業“秋みつけ”

急速な社会のデジタル化に対応できないなど、就労に困難を抱える若者が増加。
NPOと協働し、リコーグループ社員・技術を活用、就労体験を提供・支援するプログラム

● プログラムの概要

- ・主にNPO育て上げネットに登録している**就労支援希望の若者が対象**
- ・リモート会議で使用する背景画像について、企画書・見積作成、画像制作を通して**疑似的に「仕事」を体験**してもらう
- ・リコーグループ**社員がボランティアでサポート役として参加**
- ・21年度開始の新プログラム

● 具体的な体験活動

- ・リコーグループのオフィスの見学
- ・社員とのトークセッション（はたらくとは、成功・失敗体験など）
- ・画像編集ソフトの使い方研修/背景画像の制作
- ・社員へのキャリア相談会
- ・成果発表会

● 【成果・参加者の声】

- ・21年度は**若者41名が参加**
- ・疑似的な仕事体験や社員の方の話を聞いたのは勉強になった
- ・見積書作成など、実践的プログラムが良い経験になった

■ オフィス見学の様子



■ 参加者がリコーに納品した背景画像の例



RICOH

imagine. change.